

五峡の子

学校だより 10月号
荒川区立第五峡田小学校
校長 出井 玲子
令和3年9月30日(木)
TEL 3892-9515
五峡小ホームページ

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI5HAKETA-E/>

【学校教育目標】 「かしこい子」 「やさしい子」 「たくましい子」

読書の進め

校長 出井 玲子



10月に入り、少しずつ活動の幅を広げることができています。
ご家庭や地域でのご協力に感謝し、引き続き感染予防に細心の注意を払って、教育活動を行って参ります。

この8月、国立青少年教育振興機構の20代～60代までの5,000人を対象とした調査で、「小中高と継続して読書をしている人」は、「各種の力が高めである」という結果が示されました。その力とは、「客観的、論理的に考える力」「何事にも進んで取り組む姿勢や態度」「自分を理解し、肯定する力」などです。特に、子供の時に読書量が多かった人の小学校高学年頃の経験には「本を持ち歩いて読んだ」「地域の図書館で本を借りて読んだ」「同じ本を繰り返し読んだ」「ジャンルを問わず読んだ」などの回答が多かったそうです。読み聞かせをしてもらった経験をあげた人もいました。調査には、読書後について、学校でも家庭でもディスカッション（話題にする、アウトプットする、共有する）の大切さもあげられています。私は、このディスカッションは大げやなことではなく、「どんな内容だった?」「どこがおもしろかった?」「もっと知りたくなったことはどんなこと?」「疑問をもったり、違うんじゃないかなと思ったりしたことはあった?」などの質問を、しかも1つか2つを投げかける位でもよいのだと思います。その積み重ねが学びを広げたり深めたりするからです。夏休みの宿題で取り組んだ「読書に係るコンクール」の作品からも、多面的な考えや思いやりの心、課題を解決しようとする姿などがたくさんみられました。きっと、ご家庭で上記のような声掛けをいただいたのだと思います。

本校の読書月間は11月ですが、秋のこの時期から、お子さんと一緒に読書の魅力を味わったり、楽しんだりしていただき、1、2の質問から会話を広げていただければと思います。学校でも本の魅力の効果的な紹介や調べ学習の充実などに取り組んで参ります。

祝！第五峡田小学校創立90周年



令和3年10月2日、五峡小は90回目の誕生日を迎えます。その記念として五峡小同窓会の皆様より「創立90周年」の看板が贈られ、校舎の屋上に設置いたしました。

11月20日の創立90周年記念式典当日に配られる記念誌には、児童の将来の夢や抱負などがつづられています。大きな節目となる今年を、いつか児童が思い出すきっかけになればと思います。